

米粉利用食品に関する山形県内大学生の意識調査結果について

山形県米粉利用推進協議会（会長：山形県食品産業協会会長 鈴木俊幸）では、製粉技術の向上等により新たな用途への活用が期待される米粉（米穀以外の穀物の加工品に代替して用いられる米穀粉）について、今後の方向性を探る基礎とするため、山形県内の大学、短大、高等専門学校及び大学校（以下、「大学等」という。）の学生を対象に、米粉利用食品に関するアンケート調査を実施し、結果を取りまとめました。

<アンケート調査の対象、方法>

山形県内の大学等10校の協力を得て、在籍する学生を対象に、10月から11月にかけてアンケートを行いました。

※ 有効回答者数563名（うち大学職員5名）

<調査結果の概要>

1 米粉利用食品の認知度

従来的小麦粉等を主原料として加工されてきた一般的な、パン・めん等の製品に対して、小麦粉等の部分を米粉に代替して加工した、いわゆる、米粉パンなどの米粉利用食品を知っているとの回答割合は、67.5%でした。

2 米粉利用食品の購入経験

米粉利用食品を実際に購入した経験があるとの回答割合は、48.0%でした。

3 米粉利用食品の食味等

「米粉利用食品の購入経験がある」と回答のあった270名を対象に、米粉利用食品の「味」、「食感」、「外観」及び「価格」について設問したところ、小麦粉等を主原料に加工された一般的な食品に比べ、「変わらない」乃至は「良い」との評価が大半でした。

<添付資料>

- 米粉利用食品に関する県内大学生の意識調査結果

お問い合わせ先：山形県米粉利用推進協議会
（事務局）山形農政事務所食糧部消費流通課
担当：阿部、布宮
電話：023-622-7236 fax：023-622-7294